



終戦街宣



女性議員研究交流大会

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより

SIDE-A



押し寄せる
異常気象が通常に
(はるみのワクワク川柳)



戦争を語り継ぎ平和の種を育てるつどい



津軽ダム調査

安藤はるみの活動日誌

- | | | | |
|----------|----------------------------|--------|-----------------|
| 8月10日(日) | 北八甲田山小屋調査(写真B面) | 24日(日) | 障害児関係者の話を聞く会 |
| 15日(金) | 終戦街宣(写真) | 25日(月) | 相談者と弘前警察署へ |
| 20日(水) | 高校魅力づくり推進基本計画地区懇談会 | 26日(火) | 女性議員研究交流大会(写真) |
| 21日(木) | 経済・交通・観光委員会(写真B面) | 27日(水) | 津軽地区党ジェンダー平等委員会 |
| 22日(金) | 津軽ダム調査(写真) | 28日(木) | 青森県戦没者追悼式 |
| 23日(土) | 戦争を語り継ぎ平和の種を育てる
つどい(写真) | 30日(土) | 原爆と人間展 |
| | | 31日(日) | 食と農をつなぐオーガニックデー |

(戦争を語り継ぐ)

安藤も代表を務める「憲法9条つがる女性の会」が「戦後80年企画・戦争をかたり継ぎ平和の種を育てるつどい」を行い、そこで語られたお二人のお話は本当にリアルで貴重な内容でした。

田村吉重さん(85歳)は、5歳の時に青森空襲に遭い母と姉と火の中を逃げまどい何とか命拾いしたものの、小児麻痺を患い歩けなかった兄Aさんは犠牲になったこと。空襲警報がなり響いていた時、病気がちだった母が「私を、Aと一緒にここで死なせてくれ」と当時13歳だった姉に懇願したこと。火の手がそこまで来ていて姉はとっさに弟のAを布団ごと仏壇の前に移し、仏様にAをよろしくと手を合わせ母を説得し妹の手を引いて逃げたこと。防空壕には人がいっぱい入れてもらえなかったこと。しかし防空壕に逃げた人は皆焼け死んでしまったこと。命拾った吉重さんたちが翌朝自宅に行き黒い塊となった弟を見つけたこと。そのことを姉が生涯責任を感じずと苦しんでいたことなどが語られ、この戦争体験から「おかしいことはおかしいんじゃないと言える世の中を手放してはならない」と締めくくられました。

岩淵シゲさん(89歳)は、当時農村部に住んでいて遠くの空が真っ赤に染まった青森空襲の記憶や生家が米作り農家なのに、できた米はほとんど供出され、カボチャや大根菜入りのごはんしか食べられなかったこと。頭はシラミが付き太陽に当たるとぼとぼと落ちてきたこと。学校のグラウンドは畑になって畑仕事ばかりだったこと。学校入口の奉安殿に最敬礼して登校するのだが、一度遅刻ギリギリになり何日も何日も練習させられ要注意人物にされたこと。学校生活4年で終戦を迎え2学期にそれまで使っていた教科書を黒く塗りつぶし、憲法の勉強が嬉しかったこと。この封印していた戦争時代の惨めな体験を振り返りながら語って下さいました。戦後80年戦争をテーマにした報道が沢山されているが、誰がそんな時代をつくったのか肝心な所は全く語られていないと指摘されました。日本がどこに向かうのか不安。無関心でいられない。

帰り際チラシを見て参加したという若い方が「どうして戦争に巻き込まれてしまったのか」と田村さんに聞いてきました。「隣組というのがあってみな従わなければならない重い空気感があった。戦争反対と言えなかった時代だった」と語ると「わかりました。そこが知れたかった」と述べ9条の会の賛同者になってくれ、平和の種がまかれました。

ほっとタイム



自宅0172-35-2270

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
9:00~14:00(土・日・祝日左記時間以外は留守電対応)

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

X(旧)Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー870人

8月の相談件数6件
ホームページアクセス数 8月178,418件

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより



委員会で質問

SIDE-B

アジサイ便りを読んでのご感想や、委員会など議会で取上げて欲しいことなどありましたらお寄せください♪

産を回避し事業継続が図られるよう万全な支援強化を求めました。

〔観光〕

日米食い違いが残っているがトランプ関税への対応を質す

中村義人県産品販売・輸出促進課長「米国の総合関税が今月7日に発行され米国向けの日本産食品には15%の課税がかかるが、実際の課税率や時期については不透明。県産農林水産品の米国向け輸出額が3%しかないことや日本産食品を好む高所得層であることから影響は限定的である」とらえる一方、新たな関税措置により影響があると考えているため、県内事業者の状況変化や課題についてヒアリングやアンケート調査で把握していく」と答弁。安藤は米国の国際ルールを無視した横暴に抗議し、多国間の国際協調で無条件での完全撤回を求める声を国にあげるよう求めました。

北八甲田の老朽化している仙人岱避難小屋と悪臭こもる大岳鞍部避難小屋のトイレ問題・安全対策を質す



仙人岱避難小屋前で



大岳避難小屋内部



毛無岱木道

安藤は要望をお寄せ頂いた県民の方の案内で事前調査をし、写してきた写真を掲げ質問に臨みました。

佐藤宏観光政策課長は「仙人岱避難小屋は建築から45年経過し老朽化が進んでいることからトイレを含む建物全体の改修や再整備について検討している。今後測量及び地質調査を実施し、その後環境省等と協力し進めていく。大岳鞍部避難小屋のトイレの臭気対策として消臭剤対策など対策を講じてきたが改善に至っていないので、今後は臭気の逆流を防止する換気装置を設置するなど有効な改善方法を検討する」とし、また冬場雪のため3階相当部分から入室し1階に降りるには長い直線の階段しか設置されておらず危険だと指摘し、新たな梯子設置の改善策を提案したところ「2階相当部分の板の間から3階相当部分への梯子を設置することは利用者への利便性向上につながる」とし梯子設置の検討を約束しました。

と「北八甲田の4本の登山道を管理している老朽化が著しい木道等の施設については国の交付金を活用しながら計画的に改修を行っており、今年度は毛無岱（けなしだ）線延べ約240メートルの木道工事を実施。これ以外にも状況把握に努め改修の必要性や緊急性を考慮し、適切に対応する」と答弁しました。

〔交通〕

新青森駅西口駐車場の駐車可能台数と満車状況等質す

安藤が体験した新幹線乗車予定で車で西口駐車場に行ったが満車で入れず、誘導員から「自分で他の駐車場を探そう」と指示され、見つかった一つの民間駐車場は既に満車で途方に暮れた経験をもとに、駐車場を管理しているのは青森市ではあるが、あえて問題を共有するため質問した。

菊池礼仁鉄道対策課長「青森市によると、駐車場可能台数は983台で、令和6年度において満車が発生した日数は63日で、土曜日・日曜日に7割以上、月別では12月から2月の冬期間に5割以上が発生している」とし、さらに周辺の駐車場について質すと「新青森駅周辺には市営駐車場と民間駐車場を合わせて7か所あり駐車可能台数は約1580台。内訳は市営駐車場の西口、南口合わせて約1057台、民間駐車場が5か所合わせて約523台」と答弁。

更なる質疑で「スマートフォンアプリで駐車場の空き情報のリアルタイム配信やカーナビでも混雑状況の配信を行い、利用者が事前に混雑状況が把握できるようにになっている」とこともわかりまし

はるみ事務所の風

お盆とは限らないのですが、人と会う機会が多いとわかっているときには、前もって備蓄しておくべきですね。贈れるものを。

いいなと思ったものは多めに買って置いて余ったら自分で消費。要注意賞味期限！！

今年、備蓄しておいて良かったものは、紅茶でした。1袋に5杯分しか入ってないけど甘くてかわいいやつ。ドライフルーツがいっぱい入ってる大人なやつ。瓶入りでちょっと重いけど皮も入ってるゆず茶。

「えー何これー！！」っていう反応を見て、我（――）ニヤリ

およろこびいただけてしあわせなり

葛原未来

た。安藤はいずれにしても満車で入れない時には他の駐車場の案内チラシ配布を行うよう求めました。

他に、

- 首都圏におけるアンテナショップの取組について
- 本県産日本酒の販売促進について
- 県産加工食品の輸出促進について
- ジェットロ青森との連携についても質問しました。